学校だより　第1号

加曽利中

千葉市立加曽利中学校
令和５年４月 11 日

奇跡の確率で出会った人たち（入学式　校長式辞より抜粋）

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。本校では、学校教育目標を「豊かな心をもち 自ら考え 学び 行動できる生徒の育成」と定め、教職員、在校生がその実現に向けて一丸となって取り組んでいます。その学校教育目標をふまえて、皆さんにいくつかお話をしたいと思います。

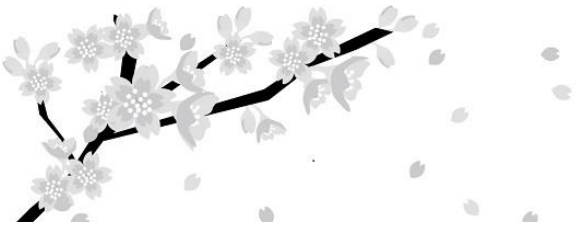
まず「自分の周りの一人一人を大切にしてほしい」ということです。世界の人口は 80 億人。その中で、ここ加曽利中学校に同時期に通学することになる確率は、いったいどれくらいだと思いますか。その確率は、機械式の腕時計をバラバラに分解して海に投げ入れ、その後、投げ入れた 200 個近いネジや歯車、バネなどの部品が、打ち寄せる波の力だけで元通りに組み立てられる確率だそうです。そう、今、ここで一緒に入学式を迎えている生徒、先生方との出会いというのは、まさに奇跡なのです。何かの縁があって一緒に生活することになった人たちを大切にしてください。

自分の周りにいる一人一人を大切にするんだという思いが学校全体の思いになったとき、いじめや差別によって嫌な思いをする人が一人もいない、温かい学校を築き上げられると信じています。

友達が困ったり、苦しんだりしているときに、寄り添ったり、話を聞いたり、そっと手を差し伸べたりできる、そんな思いやりや優しさをはぐくんでほしいと思います。

そのために、まずは自分を大切にしてください。自分を大切にできない人は、他人を大切にできませんし、何より、今、この体育館にいる皆さんの存在自体も奇跡なので、大切にしてほしいのです。

鶏は卵から生まれますよね。では、私たち人間は、最初、どれくらいの大きさだったと思いますか。お母さんのおなかの中に生命として宿った瞬間の大きさです。鶏の最初が卵の大きさだから、人間の場合、野球ボールくらいかなと思うかもしれません。実は、人間の最初の大きさ、命の始まり、受精卵の大きさは、わずか 0.1 ミリしかないのです。皆さんが普段使っているシャープペンシルの芯が 0.5 ミリですから、その五分の一ほどの小ささです。それがお母さんのおなかの中で十か月と十日を過ごし、平均で 3 キログラム、50 センチメートルくらいになって生まれてきます。これは、0.1 ミリの受精卵の大きさを野球ボールの大きさに置き換えた場合、生まれてくるときは東京ドームの大きさになっているという計算になります。中学一年生の平均体重は 44 kgですから、今の皆さんは東京ドーム 15 個分くらいに育っているわけです。

わずか 0.1 ミリの大きさで、自分一人では何一つできなかった小さな命が、家族の愛に守られて今、ここにいる皆さんに育ったのですから、奇跡ですよね。

今までたくさんの愛に守られ、支えられてきたことに感謝し、奇跡の存在である自分を大切にして、奇跡の確率で出会った周囲の人々を大切にしてください。きっとすばらしい中学校生活になるはずです。